

発売中

精神障害者の 「就労」モデルの構築

— 社会福祉ニーズとの関連を巡って —

精神障害者の社会福祉ニーズとは何か？
最優先すべき援助は「就労」支援だ。

障害者自立支援法の成立・施行前後の議論や評価の記録。

ここで言う「リバタリアニズム」とは新自由主義的な「小泉構造改革」における社会保障制度の理念であり、一方で「福祉リベラル」を提示することで前者を批判する。……………（本文より）



序章

1. 問題関心
2. 本論文の意義・目的
3. 先行研究
4. 就労軽視の背景
5. 対象者

第1章 社会福祉ニーズ概念

- 第1節 社会福祉の定義
- 第2節 社会福祉ニーズ概念
- 第3節 社会福祉ニーズの存在証明

第2章 社会福祉ニーズ判定モデル

- 第1節 社会福祉ニーズ判定モデル
- 第2節 社会福祉ニーズ判定モデルによる判定

第3章 自己決定モデル

- 第1節 リバタリアニズム的自己決定様式
- 第2節 パターナリズム
- 第3節 福祉リベラル的自己決定様式

第4章 新しい障害者就労観と障害者自立支援法

- 第1節 就労の障壁、分析と新たな障害者就労観の必要性
- 第2節 新しい障害者就労観の可能性
- 第3節 障害者自立支援法、現状と問題点

第5章 「就労」モデル

- 第1節 共通理念
- 第2節 「就労」の保障
- 第3節 社会福祉の課題

結語 セーフティネット型から

キャストボードとしての「就労」支援へ

1. キャスティングボードとしての「就労」
2. 社会福祉ニーズと「就労」モデル
3. 他の社会福祉領域への援用
4. 今後の研究課題

著者：齋藤敏靖 東京国際大学人間社会学部教授

著者略歴 1986年 淑徳大学社会福祉学部卒業1997年 立正大学法学研究科修士課程修了（修士：法学）

2008年 新潟大学現代社会文化研究科博士課程修了（博士：学術）

ISBN978-4-904110-02-7 A5判・並製/274頁

定価：本体2,400円＋税

発行日：2010年2月13日